

# 叫びのような切迫感

ビオラ奏者・馬淵昌子

堺市出身のビオラ奏者、馬淵昌

子（38）が二月三日、三年ぶりにリサイタル（ザ・フェニックスホール）を開く。アンサンブル・ベガなど五つの室内楽団、オーケストラに所属し、貴重な実力派として引っぱりだこの奏者。「ビオラは人間の声に近くどんな音にも自然に溶け込む。



ソロでビオラ本来の音色を聴かせたい」と語る。シューマン、

西沢健一らの四曲のうち、注目はシヨスタコーヴィチの遺作ソナタ。ビオラの名手、ドルジニン氏に捧げた名曲だが、「パリ留学時代にドルジニン氏本人からレッスンを受けた思い出の曲」でもある。「人間の叫びのような切迫感を表現し、一音一音精神的深みを追求したい」

人